



小学校の外国語教育

令和2年から小学校では、小学年（3・4年生）から外国語活動を導入し、高学年（5・6年生）においては英語が「教科化」されて3年目を迎えています。初めて英語に触れるとも考えられる中学年の外国語活動では、音声面を中心としてコミュニケーションの体験を通して行う学習が中心となっています。

現在、本市の小学校では、英語を専門に教える「英語専科の先生」7人と「小中連携の中学校の先生」1人、そして外国人の英語指導助手「ALT (Assistant Language Teacher)」5人がいます。授業でも子どもたちがALTに日本や泉佐野市の文化や伝統について英語で説明をしたり、ALTからの質問に答えたりと交流をしています。生徒たちはALTに自分の意見を伝えながら、コミュニケーションの意義について体験を通じて学習を進めています。時には、覚えたフレーズを休憩時間に先生や友だちに質問し、自ら継続した学びの姿が見られます。

中学年の段階では、子どもが持つ柔軟な適応力を生かしてアルファベットや単語などの外国語の言葉を認識し、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴、語順の違いといった外国語の文構造などを意識できようになることを目指しています。このとき大切なのは知識の学習だけでなく体験を通して理解を深めることであり、体験や必然性を伴う言語活動によって、中学年の子どもたちが外国語で自ら思考・判断・表現できる力の素地を身に付けることを目標としています。

高学年の段階では、中学年で養った外国語で思考・判断・表現する力の素地を基礎のレベルにまで上げることが求められています。授業時数も高学年では、年間35単位（週1時間）から年間70単位（週2時間）と増えました。中学年で学んだ「聞くこと」「話すこと」に加えて「読むこと」「書くこと」にもより焦点を当てています。

学校園紹介



生徒主体の教育活動をめざして
～佐野中学校～

本校は、「自ら考え、判断し、主体的に行動することができる生徒」をめざす生徒像とし、日々の教育活動に取り組んでいます。今年度も、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、生徒中心の教育活動に取り組んでいます。1学期の取組を紹介します。

【修学旅行】 5月11日(水)～13日(金)の3日間、3年生が長崎方面へ修学旅行に行きました。平和学習や長崎市内のフィールドワークなどを体験し、たくさんのことを学び、そして班行動での班員との協力や、自ら考え判断することの大切さを実感することができました。



【デイキャンプ】 5月17日(火)、1年生が「大阪府立少年自然の家」にデイキャンプに行きました。宿泊ではなく、日帰りでの実施となりましたが、班でのオリエンテーリングとクラス対抗のレクリエーション大会を行い、仲間との絆を深めることができました。



これからも、生徒会執行部や委員会の生徒などが中心となり、生徒が主体的に活動する活気あふれる学校づくりを進めていきます。

友だちと楽しく運動、楽しく学習
～佐野台小学校～

本校は、体育の特認校として、市内のどこからでも通学可能な学校です。子どもの体力や運動技術の向上・生涯スポーツの啓発など、特色を生かした教育活動を行っています。



体力向上の取組の一つとして、週4回の『UPタイム』（午前10時25分～40分）を設けています。ドッジボールやなわとび、リズムステップなど曜日によって種目を変え、子どもたちが遊びを通して楽しみながら活動できるよう工夫しています。



また、泉佐野市の体力向上アドバイザーと連携し、低学年の体育の授業を指導していただいたり、全学年で年に2回（春・秋）実施する体力テストの指導方法や、分析結果をもとにアドバイスをいただいたりしています。大阪体育大学とも連携し、学生ボランティアに体育の授業や体力テストのサポートをしてもらっています。子どもたちは、日常的に運動に親しみ、楽しみながら体力づくりに取り組んでいます。

身体を動かすことの楽しさやスポーツの楽しさ、友達との関わりを通して、「よく考え進んで学ぶ子ども」「最後までやりぬく子ども」「仲良く助け合う子ども」という本校のめざす子ども像の実現に向けて取り組んでいます。